

おひさまだよい

2024.12月

12月17日はメゾソプラノ歌手 下園理恵さんをお迎えし、ホールでクリスマス会を実施しました。水色のロングドレスに身を包んだ下園さんに、お子様方の瞳は釘付けでした。「私は、歌を歌うのが大好きなんです。高い声が出るからよく聴いてくださいね」と「おもちゃのチャチャチャ」、プッチーニ作曲 オペラ《ジャンニ・スキッキ》より「私のお父さん」をイタリア語で、クリスマスメドレー、「アンダーザシー」などを華麗に歌っていただきました。3拍子の曲では、歌う前に、3拍子のワルツにあわせ、下園さんが踊って下さり、お子様たちは本当に夢の国へ連れていかれたようでした！

この後、理子先生が「子犬のワルツ」をピアノ演奏し、最後はお子様方が下園先生に歌のプレゼントをしました。

コンサートが終わるとお子様方は、「今日は美しい人が歌を歌ってくれたんだよ」「私ももっと高い声のでればいいのに！」と興奮気味に話していました。

興味深く集中して聴いていた姿は「憧れ」という言葉がぴったりでした。Instagramでもご紹介しています。



背中をぴんと伸ばして耳をそばだてて聴いています。下園さんが手でリズムをとるとお子様方もすぐリズムを返してくれました。

下園さんの一挙手一投足に瞳はくぎ付けです。3拍子のステップを踏むとドレスのドレープがリズムよく流れました。



師走に入ると、街には、クリスマスケーキとおせちに、イルミネーションとお正月飾りに目が留まります。なんだか楽しい、幸せな気持ちになれる12月です。年末年始にはお子様が、周りの方やご親戚の方に、園での生活について話したり伝えようとするこも増えるでしょう。そのような経験の中で、親以外の方とのかかわりや語彙を広げ子どもなりの世界を広げていきます。お手伝いやお正月ならではの生活を通して、お子様がどんなことに興味を持っているのかを観察してみるこも楽しいです。2学期もたくさんのご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。どうぞ、良い年をお迎えください。